

施策 313 林業の振興と森林づくり

【担当部局：農林水産部】

県民の皆さんとめざす姿

県産材の需要が拡大し、活発な林業活動が展開されることにより、持続的な森林資源の育成と活用が進むとともに、県民の皆さんがさまざまな形で森林づくりに参画しています。

平成 31 年度末での到達目標

建築用材や木質バイオマスなど、さまざまな用途での県産材の利用が進み木材生産量が増加するとともに、若者が林業の現場に定着し、間伐などの森林整備のほか、主伐に伴う再造林等が着実に実施され、森林の循環利用につながっています。また、森林環境教育や木育の実施など、森林に親しむ機会が増え、さまざまな主体による森づくり活動が活発に行われています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県産材（スギ・ヒノキ）素材生産量		366 千 m ³		387 千 m ³		426 千 m ³
	303 千 m ³					
目標項目の説明	県内で生産されるスギ、ヒノキの供給量					
29 年度目標値の考え方	「三重の森林づくり基本計画 2012」に定める平成 37 年度の素材生産量を確保していくため、現状値を基準にして必要な素材生産量を算定し、目標値に設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
31301 県産材の利用の促進（農林水産部）	「三重の木」認証材等の製材出荷量に占める割合		22.0%		23.0%		25.0%
		21.7%					
31302 持続可能な林業生産活動の推進（農林水産部）	森林経営計画認定面積（累計）		47,000 ha		52,000 ha		62,000ha
		45,427 ha					
31303 林業・木材産業の担い手の育成（農林水産部）	新規林業就業者数		41 人		41 人		44 人
		41 人					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
31304 森林の適 正な管理と公 益的な機能の 発揮（農林水産 部）	公的森林整備 面積		2,000ha		2,000ha		2,000ha
		2,775ha					
31305 みんなで 支える森林づ くりの推進（農 林水産部）	民間主体の森 林づくり及び 森林環境教育 などの活動の 進展度		60,000 人		62,000 人		66,000 人
		58,692 人					

現状と課題

- ①製材・木材加工業者や工務店・建築士等の「三重の木」認証事業者が連携して行う「三重の木」等をPRする取組を支援するとともに、輸出用原木の選別・仕分けに対する支援を行い、9月までに718 m³（昨年同時期比176%）の県産材が輸出されるなど、県産材の需要拡大に取り組んでいます。また、伊勢志摩サミットにおいて森林認証を受けた尾鷲ヒノキが使用され、その品質の良さが国内外に発信されました。中長期的には住宅の着工戸数の減少が予想される中、合板に用いられるB材や木質バイオマス等のチップ原料となるC材の需要は拡大していますが、木材の最も価値の高い部分であるA材（建築用材等）について、建築用途や内装材、さらには東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設などへの利用を促進する必要があります。
- ②木質バイオマス発電所の安定的な稼働に向けて、高性能林業機械等の導入や、地理的に不利な東紀州地域からの木質チップ原料の運搬に対し支援し、8月末時点での木質チップの供給量は、昨年度の同時期に比べ約3割増加しています。引き続き、木質チップ原料の安定供給体制の構築に向けた取組を進める必要があります。
- ③素材生産量の増大に向け、林業の収益性を上げ伐採意欲を喚起するための低コスト造林や搬出間伐に対する支援に取り組んでいます。また、森林経営計画に基づく森林施業の集約化、林道等の路網整備等を支援しているほか、木材市場や森林組合とは、木材流通の合理化や安定供給体制の構築に向けて意見交換を行っています。県内の森林資源は利用の段階を迎え、森林資源の循環利用を進めるため、計画的で効率的な森林施業を行う必要があります。
- ④主伐を促進するための架線集材技術や、効率的な木材生産を実践するための高性能林業機械の操作・メンテナンス技術など、高いスキルを持った林業技術者の育成を支援しています。架線集材等の高度な技術の習得には今後も継続的な研修が必要です。また、林業の新規就業者の確保を図るため、7月に就業・就職フェアを開催したほか、高校生への林業職場体験研修を3校（全体6校）で開催しました。林業従事者数は減少傾向にあるなか、新たな担い手の確保と高い技術を持った技術者の育成が必要です。
- ⑤次代の森林・林業を担う経営感覚を持った人材を育成していくため、地域の森林・林業関係者や有識者を構成員とする有識者会議を設置して、「森林・林業のあるべき姿」や林業人材育成方針（仮称）の策定に向けた検討を重ねています。また、林業体験と林業リーダー育成の2つのコースを設定した林業講座「もりびと塾」を開講し、人材の育成・確保に取り組んでいます。今後は受講者のニーズなどを検証し、林業大学校の設置を含めた新たな教育・研修体制の検討に生かしていく必要があります。

- ⑥森林の有する公益的機能が十分に発揮されるよう、環境林における間伐等の森林整備を促進するとともに、「みえ森と緑の県民税」を活用し、今年度計画している41箇所中32箇所で流木となるおそれのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出に着手しました。豪雨災害が多発するなど、自然災害の発生するリスクが高まっており、引き続き、「災害に強い森林づくり」や間伐等の森林整備など、森林の適正な管理を進める必要があります。
- ⑦企業と森林所有者とのマッチングサポートを行った結果、6月に新たに大台町内の町有林を「企業の森」として締結し整備していくことができました。今後も、さまざまな主体による森林づくりが進むよう支援していく必要があります。
- ⑧市町や学校、森林ボランティア団体等を支援するため、三重県林業研究所内に「みえ森づくりサポートセンター」を開設し、学校等の要望に応じた出前授業（12回）、森林環境教育の指導者の養成講座（3回）、木育を幅広く県民に広める「ミエトイ・キャラバン」（12回）、子ども写真教室と森フォトコンテストを開催したほか、新生児用の木製玩具の開発を林福連携で進めています。森林は、県民共有の財産であるとの認識のもと、森林づくりを社会全体で支えるため、森づくり活動団体を増加させるとともに、森林環境教育や木育を進めていくうえで、指導者および活動団体と学校などをつなぐコーディネーターを育成していく必要があります。
- ⑨「みえ森と緑の県民税」のうち、市町で実施する市町交付金事業について、地域の実情に応じた森づくりをより効果的に進めるための意見交換会を開催するとともに、税事業の成果について広く県民の方々に周知するため、リーフレットの作成や成果発表会を開催しました。一方、一部の市町や団体等から税の使途の見直しについての意見や要望があることから、5年目となる平成30年度の見直しに向けた準備を行っていく必要があります。

平成29年度の取組方向

- ①県産材の需要拡大に向けて、製材工場や工務店、建築士等からなる「三重の木」の住宅建築を促進するためのネットワークづくりを進めるとともに、首都圏など大消費地での販路開拓や公共建築物への利用促進などに取り組みます。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会関連施設などへの森林認証材等の利用促進や県産材の輸出など、A材を中心に新たな需要の開拓や創出に取り組みます。
- ②木質チップの供給量は順調に増大しているものの、今年度、新たに2つの木質バイオマス発電所が稼働し、木質バイオマス燃料の需要量は増大していることから、引き続き、発電事業者、チップ加工者、素材生産業者等関係者が連携して木質チップの供給量を増大させるための取組を進めます。
- ③素材生産量の増大を図るため、森林経営計画の作成推進による森林施業の集約化、収益性を上げ、伐採意欲を喚起するための低コスト造林を推進するとともに、施業の効率化を図るため路網等の基盤整備を進めます。また、製材工場や合板工場、バイオマス発電施設等への原木の供給力を強化するため搬出間伐を促進するほか、「木の駅プロジェクト」や自伐林家など地域の自主的な活動を支援します。さらに、合板工場や木材市場、素材生産業者等が連携した新しい原木の安定供給体制の構築に取り組みます。
- ④効率的な木材生産を实践するため、架線集材技術や高性能林業機械の操作・メンテナンス技術など、高いスキルを持った林業技術者の育成に対し支援するほか、就業・就職フェアの開催や新たな担い手となる高校生への林業職場体験研修に対して支援を行います。
- ⑤三重県の森林・林業の将来像となる「森林・林業のあるべき姿」の実現に向けて、三重の森林づくり基本計画の改定を進めるとともに、あるべき姿の実現等に必要となる人材を育成していくため、林業大学の設置を含めた新たな教育・研修体制の構築に向けた取組を進めます。

- ⑥森林の有する公益的機能が十分に発揮されるよう、間伐等の森林整備を促進するとともに、「みえ森と緑の県民税」等を活用し、流木となる恐れのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出等を行うなど、災害に強い森林づくりを進めます。
- ⑦森林づくりへの県民参画を進めるため、企業やボランティアなどへの情報提供や森林とふれあうイベントの開催、県民参加の植樹祭など、様々な機会の創出に努めます。また、市町と連携して、「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育や木育、里山の整備などの森林づくりを推進します。
- ⑧みえ森づくりサポートセンターの一層の周知を進め、活用を働きかけながら、さまざまな主体と連携して森林環境教育・木育の取組を広げていくほか、県民や次世代を担う子どもたちに森や木に対する理解を深めていただくためのイベントの開催や森林環境教育指導者等へのレベルに応じた段階的な研修を実施します。
- ⑨平成30年度に「みえ森と緑の県民税評価委員会」で検討を行う税の使途の見直しに向け、県民の方々や各種団体などから幅広く意見や要望を聴き取り、見直しに向けた検討を進めます。

主な事業

- ①「もっと県産材を使おう」推進事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】
予算額：(28) 6,023千円 → (29) 4,971千円
事業概要：「三重の木」認証材をはじめとする県産材の情報発信、販路開拓、川上から川下までの県産材利用のネットワーク強化等に取り組み、県産材の利用拡大を図ります。
- ②木質バイオマスエネルギー利用促進事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】
予算額：(28) 3,246千円 → (29) 4,535千円
事業概要：木質バイオマスの安定供給体制を構築するため、木質チップ原料を供給する事業者の収集・運搬機械の導入や枝葉等を効率的に発電所に供給するシステムの構築を支援します。
- ③（新）東京オリ・パラを契機とした県産材の販売力強化促進事業【基本事業名：31301 県産材の利用の促進】
予算額：(28) — 千円 → (29) 8,400千円
事業概要：東京オリンピック・パラリンピックの会場施設などへの県産森林認証材等の採用に向け、協議会の設置や森林認証の取得支援など供給体制の強化を進めるとともに、新商品の開発や認知度向上のためのPRなど森林認証材の販売促進に取り組みます。
- ④森林経営計画作成推進事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】
予算額：(28) 18,222千円 → (29) 46,969千円
事業概要：森林経営計画作成に必要な森林情報の収集・整理、立木や路網などの調査、所有者への説明会や個別訪問等による合意形成活動のほか、森林境界の明確化に対し支援します。
- ⑤低コスト造林推進事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】
予算額：(28) 104,439千円 → (29) 52,607千円
事業概要：主伐の促進により、素材生産量を拡大するため、伐採を控えている森林所有者の意欲を喚起し、植栽から育林までの林業のトータルコストを抑える低コスト造林の普及に取り組みます。

⑥林業・木材産業構造改革事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

予算額：(28) 265,683千円 → (29) 153,150千円

事業概要：林産物等の安定的な供給・利用の拡大を図るため、間伐をはじめ、森林作業道の整備や高性能林業機械等の導入、森林資源を保護する取組等を支援するとともに、優良種苗の確保に努めます。

⑦造林事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

予算額：(28) 360,234千円 → (29) 603,642千円

事業概要：森林の有する多面的機能の維持・増進や持続的林業生産活動等の促進を図るため、間伐を促進するとともに、再造林や下刈り、路網整備等を支援します。

⑧林道事業【基本事業名：31302 持続可能な林業生産活動の推進】

予算額：(28) 485,974千円 → (29) 432,564千円

事業概要：木材の生産や搬出に必要な林道を開設するとともに、輸送力の向上と通行の安全確保等を図るため、既設林道の改良等を実施します。

⑨林業人材育成・確保事業【基本事業名：31303 林業・木材産業の担い手の育成】

予算額：(28) 16,070千円 → (29) 16,070千円

事業概要：主伐、搬出ができる人材を確保・育成するため、OJTによる架線集材技術の伝承を図るとともに、高性能林業機械等のオペレーターを養成するための現地研修等を実施します。

⑩豊かな森と地域を担う人づくり事業【基本事業名：31303 林業・木材産業の担い手の育成】

予算額：(28) — 千円 → (29) 2,606千円

事業概要：新たな教育研修体制の構築に向けた具体的な検討を行うほか、高校生等への就業体験の開催や労働災害の防止、自伐型林業活動を活性化するための技術支援等を行います。

⑪森林環境創造事業【基本事業名：31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(28) 77,521千円 → (29) 59,921千円

事業概要：所有者から提供された森林を公共財として位置づけ、森林の有する公益機能が持続的に発揮されるよう、間伐等により針葉樹と広葉樹との混交林への誘導を行うなど、森林の適正な管理を進めます。

⑫災害に強い森林づくり推進事業【基本事業名：31304 森林の適正な管理と公益的な機能の発揮】

予算額：(28) 720,084千円 → (29) 392,067千円

事業概要：「みえ森と緑の県民税」を活用して、「災害に強い森林づくり」を進めるため、流木となるおそれのある溪流沿いの樹木の伐採・搬出とともに、治山施設等に異常堆積した土砂や流木の撤去等を行います。

⑬みえ森と緑の県民税市町交付金事業【基本事業名：31305 みんなで支える森林づくりの推進】

予算額：(28) 406,376千円 → (29) 736,527千円

事業概要：「みえ森と緑の県民税」を活用して、「災害に強い森林づくり」および「県民全体で森林を支える社会づくり」を推進するため、市町が地域の実情に応じて創意工夫しながら森林づくりの施策を展開できるよう交付金を交付します。

